

継続

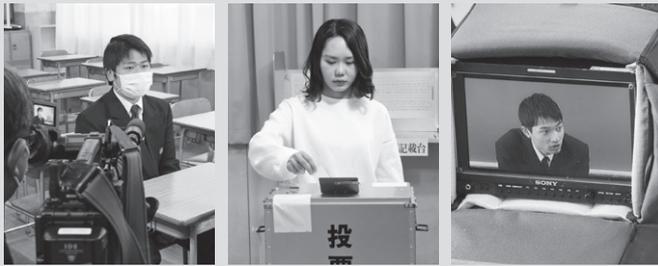
若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり

若者が議会へ関心を持ち、投票行動を起こすにはどうすればよいかを市議会の立場で議論するため、政策検討会議を設置しています。

令和3年度は大津商業高等学校の協力のもと、高校生や社会科の先生との意見交換を行い、若者が議会や選挙に関心を持つきっかけ作りの手段として、動画の作成に取り組みました。

この動画は、現役高校生の出演によるショートドラマで、若い世代が自分たちの生活と選挙に行くことがどう関連しているのか、出演者の会話を通じて、共に考えることができる内容になっています。

学校現場での活用も視野に入れ、市内の高校にDVDを配布したほか、市内の小中学校へYouTubeチャンネルでの公開を周知しました。



このほか、議会としての主権者教育（議長公約）の一環として、高校生とのオンライン意見交換会も実施し、投票環境などに対する若者からの意見をもとに、市選挙管理委員会への提言書をまとめました。

意見交換の様子は
こちらから



継続

歯と口腔の健康づくり

大津市歯科医師会や、歯および口腔の健康づくりの推進に関する条例を制定している滋賀県の担当部局の職員との意見交換などを実施しました。

今後は市の担当部局の職員などと意見交換しながら、市として取り組むべき歯と口腔の健康づくりに関して、議会としての議論を深めていきます。



継続

広報のあり方検証

議会だよりをはじめとする市議会の広報全般について、今後の在り方を議論しました。まずは、現状を把握するため13歳以上の市民3,000人を対象に無作為抽出によるアンケートを実施し、この結果も踏まえ、議会の広報をより効果的に展開するための戦略となる広報広聴ビジョンを策定し、これに基づく具体的な行動を示すアクションプランも併せて策定しました。

令和4年度は、議会だよりのリニューアルをはじめ、具体的な取り組みを進めていきます。



継続

公文書管理のあり方

コロナ禍により議論が一時中断していたため、令和3年度はこれまでの議論を改めて整理し、今後の大きな方向性について議論しました。

令和4年度は、執行部における公文書管理に係る取り組み状況を確認するため、担当部局の職員との意見交換会などを行い、適正な公文書管理に向けて、議会としての議論を深めていきます。

継続

委員会インターネット中継導入、聴覚障害者用モニターを設置

令和3年度はAIによる自動音声反訳を字幕表示する傍聴支援モニターを設置しました。

令和4年度は委員会のインターネット中継の導入について、費用対効果なども踏まえながら、継続的に検討します。

